

田沢湖ロータリークラブから 3園に電気製品などが寄贈

11月16日、田沢湖ロータリークラブから田沢幼稚園・だしのこ園・神代こども園の3園に、CDラジカセやDVDプレーヤー、デジカメなどの電気製品のほか、2輪スクーターやリングカーなどの遊具が寄贈されました。

これは、創立15周年を迎えた田沢湖ロータリークラブが3園に役立ててほしいと、記念事業として行われたものです。

だしのこ園で行われた贈呈式では、草薙稲太郎会長から田沢幼稚園の千葉勇園長、だしのこ園の平岡裕子副園長、神代こども園の熊谷勇一郎園長それぞれに手渡されました。



遊休農地復元へ行動 農業委員が奮闘し遊休農地約1.4haを耕起

11月17日・18日に角館町山谷川崎大面地区の遊休農地を市農業委員が、雑草の草刈りや柳の抜根をし、トラクターで耕起を行いました。

背丈を超えた雑草が生い茂り、難しい作業となりましたが、事務局職員も参加し農地へ復元しました。

仙北市・市農業委員会・仙北地域振興局普及指導課・JA秋田おばこの4者で組織する仙北市遊休農地解消普及活動協議会は、管内に所在する遊休農地の把握・現地確認等を実施し、解消に向けた具体的対策と解消に向けた活動を行うことを目的に平成19年6月7日に設立されており、同協議会で把握した遊休農地のうち、調整が整った箇所を耕起したものです。



隣接農地への悪影響を緩和し、見事に蘇った遊休農地は、今年地元農家の方と契約を結ぶ予定になっており、委員は「これをきっかけに遊休農地解消へさらに取り組んでいきたい」と話していました。

大曲仙北広域市町村圏組合に 「煙体験ハウス・スモークマシーン」が交付される

財団法人日本防火協会から「防火防災訓練用資器材助成事業」として、大曲仙北広域市町村圏組合に、「煙体験ハウス・スモークマシーン」が交付されました。

この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として、民間防火組織等の育成強化を図るための助成を行い、災害に強い安全な地域づくりを推進することを目的に行っているものです。

火災で亡くなられる方の多くは、煙に巻かれて亡くなることが多いことから、消防署では実際に煙の恐ろしさを体験することができるこの煙体験ハウスを活用した防災訓練、避難訓練等へ多くの方々から参加、体験してもらい、防火意識高揚を図りたいと期待をよせています。



西木消防分署に新しく救急車が配備

12月18日、西木消防分署に新しい救急車が配備されました。

新しく配備された救急車の特徴として、ボディが大きくなったことに伴い、天井や室内空間が広がりました。資機材も新しくなり室内灯も多く設置され、以前より明るく救急隊員の活動もしやすくなっています。また、今までの救急装備品のほか、AED(自動体外式除細動器)も積載されています。

